町田市 街路樹更新計画 概要版

緑豊かな景観を維持しながら、適切な管理を行うことで、質の高い緑を充実させていくことを目指し、街路樹更新計画を策定しました。

1. 町田市街路樹の現状と課題

1.1 現在の街路樹の状況

高木本数:約15,600本 道路緑地面積:約83,000㎡

2022年度維持管理費:215百万円(予算)

街路樹の多くは高度経済成長期の道路整備に合わせて植栽され、樹木の老朽化が進んできています。一方で、街路樹を良好な状態に保つための維持管理費の大きな伸びは見込めず、将来を見据えた予防保全型の計画策定、予算の平準化が求められています。

1.2 現在の街路樹の課題

- (1)安全面での課題
- 〇老木化による倒木・落枝事故発生の懸念
- ○交通安全上支障となる街路樹
- 〇狭い歩道における通行支障 等
- (2)環境・景観面の課題
- ○植栽間隔が狭く密集状態にある。
- ○道路空間と沿道景観とのバランスが悪い 等
- (3)維持管理費の課題
- ○管理にあたっての経費は増加傾向

2. 街路樹更新計画 (計画期間は 2023 年度から 2032 年度までの 10 年間)

街路樹の更新方法(右上に続く)

〇優先的に更新を行う約100路線に対し、以下の4分類に区分をして、更新方法を検討しました。

①景 観 重 視 路 線:きめ細やかな管理により、整った樹形を維持し、景観や安全に配慮した管理を行います。

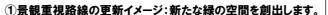
②植栽環境改善路線:安全に支障のある街路樹を整理し、伐採や剪定等により良好な植栽環境へと改善します。

③樹種変更路線:倒木の危険性の高い樹種や病虫害に弱い樹種を別の樹種へと植え替えます。

④樹 木 撤 去 路 線:歩行空間確保のため、街路樹の植栽に適していない路線の高木や低木を撤去します。

①景観重視路線の更新イメージ:きめ細かな剪定により、現在の良好な街路景観の維持に努めます。





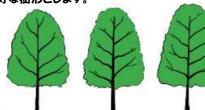


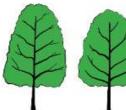
②植栽環境改善路線の更新(伐採)イメージ:樹木の間隔や並びを整え、良好な樹形とします。



更新前







更新後

街路樹の更新方法(左下からの続き)

③樹種変更路線の更新イメージ:倒木の危険性のある樹種を植替えます。





④樹木撤去路線の更新イメージ:安全な歩行空間の創出を 図ります。



3. 持続可能な管理手法の検討

3.1 大径木の更新期間と更新計画

1度更新した大径木については、その後30年の間隔で更新を実施する計画とします。

StepO:樹木の間隔が狭く、樹形が乱れた状態





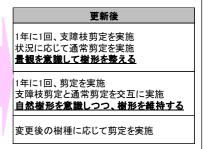
Step2:半数の更新を実施(大径木化した街路樹を若木に植替え)

15 年後 Step4:1 スパン後は Step2,Step3 を繰り返す

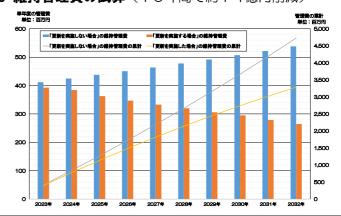
Step3:初年から 30 年後、もう半数の更新を実施(これを 1 スパン)

3.2 更新後の管理目標

路線	更新前
景観重視路線	2~5年に1回、通常剪定を実施
植栽環境改善路線	1~2年に1回、通常剪定を実施 ※何年も実施出来ていない箇 所アリ
樹種変更 路線	1年に1回、通常剪定を実施



3.3 維持管理費の試算(10年間で約14億円削減)



4. 市民協働と官民連携

「協働による地域社会づくり」推進方針において、『協働』を『地域の多様な主体が、お互いを尊重しながら、 共通の目的を達成するために協力して活動すること』と定義しています。

本市では「アダプト・ア・ロード事業」といった地域住民が中心となった活動や、事業者が利用する「企業版 ふるさと納税」といった取り組みが行われています。今後も地域の住民や事業者と連携しながら、きめ細やかな 整備や維持管理などに関わることができる取り組みを充実させていくことで、適正な管理に努めて参ります。

